

## 精密工学会賞 第7回 (2011年度)

### 受賞者業績紹介

**受賞者： 稲葉 善治 氏**

稲葉善治氏は、1983年にファナック(株)に入社以来、射出成形機電動化の研究開発に取り組み、1984年にはそれまでの油圧駆動式に代わる、新しいサーボモータ駆動方式の電動式射出成形機 AUTOSHOT (現在の商品名は ROBOSHOT) を開発した。これにより飛躍的に安定した精密成形能力を発揮できるようになり、カメラ用プラスチックレンズの高精度化などに大きく貢献した。その後も、可塑化機構と射出機構の両方に独立した2つのサーボモータを搭載し、高精度化と省エネルギー化の両立にも成功するなど、一貫して電動式射出成形機分野において先駆的役割を果たした。

これらの研究成果を論文としてまとめ、1999年には東京大学から工学博士号を取得するとともに、その中の論文は1999年に精密工学会賞(現在の論文賞)を受賞した。さらに会社代表に就任してからも、NC工作機械や産業ロボット、知能ロボットなどの技術開発を強力に推し進め、日本はもとより世界のものづくり基盤技術の維持発展に大きく貢献した。これらの功績により、2007年のCIRP(国際生産加工会議)ニコラウ賞をはじめ、産業界からも多数の表彰を受けている。また2009年には藍綬褒章を受章している。

学会活動としては、精密工学会、プラスチック成型加工学会、電気加工学会などで幅広く活動し、電気加工学会では副会長を務めた。国内外での学会における招待講演も多く、IMS国際フォーラムでは基調講演を行っている。

以上のように、産業界、学会の発展に果たした貢献は極めて大である。

1973年 東京工業大学工学部機械工学科卒業

同 年 いすゞ自動車株式会社入社

1983年 ファナック株式会社入社

1989年 同社 取締役役に就任

1992年 同社 常務取締役役に就任

1995年 同社 専務取締役役に就任

2001年 同社 代表取締役副社長に就任

2003年 同社 代表取締役社長に就任(現在に至る)

工学博士